

同朋 和敬

文化祭特集

Doho High School Community Press



同朋和敬
12
学校通信
Doho High School Community Press
Vol.235 05 DEC 2024

同朋高等学校 学校通信編集委員会 宇佐美・落合

名古屋市中村区稲葉地町7の1 TEL 052-411-1159

2024年度 地域懇談会報告

2024年度地域懇談会を県下23会場で、6月22日(土)~7月7日(日)までの土日に行いました。今年度は、昨年度よりも多くの方に参加いただき、第二部の食事がにぎやかに行われたという地域も多数ありました。参加者は現役保護者195名と教職員・ゲスト・保護者OB・生徒・卒業生を合わせてのべ282名となりました。保護者と教員、保護者と保護者が繋がり、お

互いの不安や考えなどについて気楽に話ができることが地域懇談会の魅力だと感じます。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。一部地域では春の地域懇談会も考えています。次の機会にもぜひご参加ください。

保護者代表 PTA地域懇談会委員長 日比野 由美
教員担当者 久保田 彩 坂井 柚香

地域懇談会の感想(一部抜粋)

- ・卒業生の話を中心に詳しい話が聞けた。今、働いている人の話も聞けてよかったです。
- ・メイン企画は真面目な話でランチ会はざっくばらんで真逆感がよかったです。
- ・卒業生との座談会は直接ストレートな意見を聞くことができ、子どもにも聞かせたいです。

- ・まだ入学したばかりでわからないことだらけです。いろいろな話が聞けたので行ってよかったと思いました。
- ・学校の様子、体育大会応援合戦の様子がよくわかりました。先生方もとても話しやすく大変アットホームなよい会だと思いました。
- ・親も日々迷いながら大事な高校生活を見守っているの、こうやって、地域やクラスの懇談会があり、悩んでも相談できることで安心できます。

2024年度 秋の「助成金拡充請願」活動について

今年度も「オータムフェスティバル(地域別県民文化大祭典)」が県下39会場で開催されました。各会場で県議会議員の先生方にご登壇いただき、愛知県や市町村の「助成金拡充を求める請願」についてご理解をいただくことができました。本校でも、生徒・保護者・卒業生とその保護者・教職員、また愛知私学の関係者や市民とともに準備・運営を行って参りました。

このような活動を40年積み重ね、2020年度に実現した「年収720万円未満世帯までの入学金・授業料無償化」が今年度も維持され、経常費助成は昨年度比で生徒一人あたり約4,000円が増額されました。

一方で、年収720万円以上の世帯には依然として重い学費負担が残っています。今年の助成金運動は、「すべての子どもたちが学費の心配をせずに学校選択ができる社会」「学費のことで負い目を抱えながら学校に通う子どもが居ない社会」を実現するために、さらなる助成金制度の拡充を訴えて参りました。

最後になりますが、オータムフェスティバルの運営協力券の普及、各地の会場へのご参加・運営など、多くの力添えをいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

Schedule [行事予定]

7日 土	PTA常任委員会、オープンフォーラム
11日 水	2年生普商修学旅行1団出発(~14日)
12日 木	2年生普商修学旅行2団出発(~15日)
13日 金	2年生普商修学旅行3団出発(~16日)
17日 火	3年生自主活動日
18日 水	1年生自主活動日
20日 金	終業式

8日 水	始業式
15日 水	推薦入試
16日 木	音楽科第56回卒業演奏会
23日 木	一般入試
25日 土	PTA常任委員会
25日 土	1・2年生学級懇談会
27日 月	1・2年生進路ガイダンス
27日 月	卒業試験(~31日)
2月 5日 水	1年生音楽科専攻実技試験

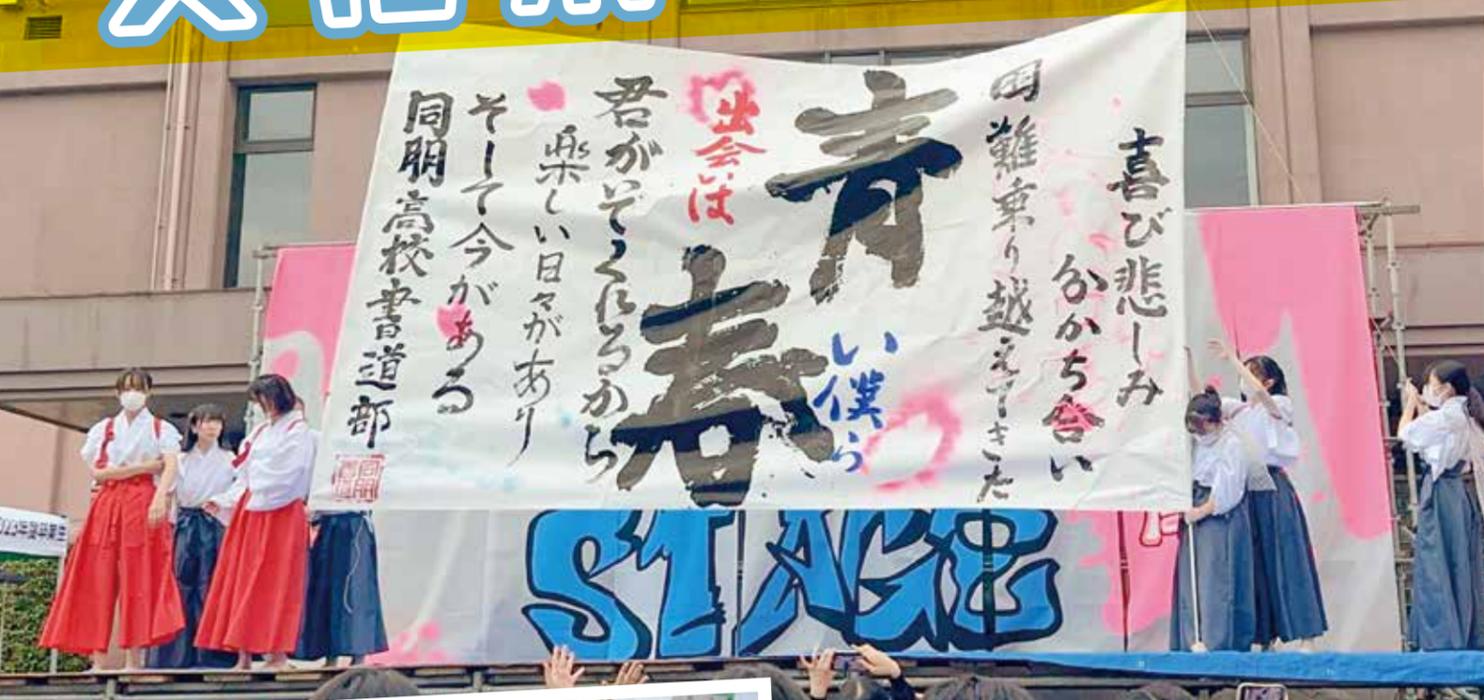
6日 木	2年生音楽科専攻実技試験
12日 水	2年生音楽科学年末考査(18日)
22日 土	卒業式
27日 木	学年末考査(~3月5日)
27日 木	2年生音楽科修学旅行(~3月7日)
11日 火	2年生自主活動日
12日 水	1年生自主活動日
13日 木	進級判定発表、在校生健康診断
19日 水	修了式

同朋高校では文化祭などの学校行事を大切にしている。例えば文化祭、クラスで何に取り組むか。明確な「完成形」や決まった「やり方」などないところ、当然一人ひとり違った考えがぶつかり合う。違いを認め合い、お互いの意見に耳を傾け、合意点を見つけていくのはとても難しい。だが、それこそが学校行事を通して生徒の皆さんに経験してほしいことであり、つけてほしい力である。その経験が、世界の平和につながっている。世界の戦争も、日々の争いも、その根は「私は正しい」にあることを、常に心に留めておきたい。

同朋高等学校長 滝 敏行

2024年 文化祭

Do For You! ～同 朋 友～



2024年度文化祭「Do For You! ～同 朋 友～」が終わりました。皆さんはどう感じたでしょうか。「楽しかった!大変だった…」。思い出せばいろいろな想いが頭の中に蘇ってくると思います。文化祭を楽しみにしていた人も、嫌だな、と思っていた人も、ひとつの企画を成功させるためにたくさん準備に時間をかけてきたのではないのでしょうか。そんな一つひとつの企画が集まって、今年文化祭ができました。こうやって文化祭を最後までやり切れたことを、とても嬉しく思います。準備が始まった6月。「どんな企画にしていこうか」みんなひとつのものに決めていくことは簡単なことではなかったと思います。あの時、クラスの前立ってみんなの意見をまとめ、前に進めていこうとしてくれていたクラスメイトを覚えていますか。前に立って話すことは、そんな簡単なことじゃありません。皆さんが見ていないところで、「次のHRどうしようか」と、きつと頭を悩ませていたと思います。ある日教室に来たら、外装や内装、企画物ができ上がっていたりしませんでしたか。自分がない間、夏休みや土日に、一生懸命にコツコツと作っていた誰かがいたのでしょうか。脚本を作ってくれた人、大道具を作ってくれた人、自分を照らしてくれた照明係、体育館

で上演できるように何度も打ち合わせを重ねてくれた演劇部。ここに挙げきれないくらいの人たちが、一人ひとりのために、「Do For You」の気持ちで取り組んでいました。そんな人たちのことを少しでも思い出して欲しいですし、誰かの助けがあって成し遂げられたことだと感じて欲しいです。そして皆さんの力で創り上げた作品や企画が誰かの心を動かしていたのなら、この文化祭は皆さんにとって意味のあるものになったと思います。私は17、8年前、自分が高校生の時の文化祭のことを今でも思い出ことができます。1、2年生の時のクラス企画は、自分が全く準備に関われなかったことすらも覚えています。3年生の時は体育館でダンスパフォーマンスでしたが、夏休みからみんなで時間をかけて練習したことを覚えています。素人ながら私もたくさん練習しましたし、だからこそとても充実した文化祭でした。今年の文化祭は胸を張って何かを頑張れたと言えますか。みなさんが大人になった時、「こんな文化祭だったんだよ!」「こんなの作ったんだぜ!」と誰かに伝えることができると素敵ですね。

文化祭教員実行委員 田中 佑樹



2024年度文化祭 受賞クラス

文化祭アカデミー賞

- 👑 314 心が叫びたがってるんだ。
- 👑 308 MEMORY
- 👑 212 Public
- 👑 104 お菓子の家からの脱出

ベストクラス賞

- 👑 207 昭和の商店街
- 👑 101 Let's Go ぱり!
- 👑 102 迷路American Adventure



314 心が叫びたがってるんだ。 文化祭を終えて 赤見 菜乃葉 (名古屋市立志賀中学校出身)

舞台やミュージカルが大好きで、舞台を一から作ることに憧れていた。

でも「舞監なんて最後まで私にできるの?」と、前に立つことに慣れてない私にとっては難しく、ずっと自問自答の毎日。

それでも、オーディションの段階からみんなの本気に圧倒され、絶対よい舞台にしようと思いを引き締めた。

それから文化祭のことだけを考える日々が始まる。

演技や大道具が形になっていくのがとても嬉しかった。

でもリハを通して大きくなる焦りに増える課題。

ギリギリまでの変更にも不安。

ついに当日、全員で組んだ円陣。

「頑張ってきた私たちなら大丈夫。思いきり楽しもう」

みんなの笑顔で不安は拭えた。

本番最後のカーテンコールで今までの努力が形になった感動に涙が止まらなかった。

結果発表でも「314」と聞いた瞬間にみんなが駆け寄ってくれて思いきり泣いた。

頑張ったよかったと心から思った。

やりたかったことを突き詰めたこの思い出は大切な宝物。

みんなに改めて「ありがとう」と伝えたい。

314 文化祭アカデミー賞



308 MEMORY 文化祭を終えて 浦川 ちひろ (名古屋市立長良中学校出身)

今年は私たちにとって最後の文化祭。「悔いを残さず、一生の思い出に」を目標に臨みました。

まずはキャストや裏方決め。主人公が決まらず、雰囲気は悪化し舞監の子たちも困る中、友達が一緒にやってみようと言ってくれました。最初は恥ずかしいし、私なんかいいのかと思いましたが、こうなってはやってやると決断しました。

時にはもう嫌と逃げたくもなりました。でも友達が相談に乗ってくれたおかげでなんとか迎えた本番。

本番前に友達と抱き合い、気合いを入れたら少し緊張が

ほぐれました。高揚からか、本番の25分は人生で一番短い25分を感じました。終わった時はホッとして涙が溢れそうでした。

そして、結果発表で308と聞いた時は驚きと喜びで泣いてしまいました。こんなに涙が溢れてくることにも驚きました。友達とも泣き、抱き合いました。その瞬間が本当に嬉しくて、今でもついにやけてしまいます。

クラスの子たちには感謝できません。ありがとう。





👑 212 Public 26人の個性と成功

齋藤 心愛 (一宮市立千秋中学校出身)

今年の文化祭は副委員長として、たくさんのことを心がけました。

話し合いでは多くの意見を取り入れることやなかなか意見が言い出せない子とは個別にお話をして意見を聞き出したりして、みんながよい気持ちで準備ができるように頑張りました。しかし、こだわりの強さや個性からぶつかり合うこともありましたが、笑顔を決めささないよう優しい振る舞いを私なりに続けました。

内容が決まってからは、よい作品にするために一人ひとりができることを自ら探し、みんながみんなのために動くことによって、私たちの最強の武器である“こだわりの強さ”が作品の細部まで完璧で納得のいくものを作り上げました。

そしてウィーンへの修学旅行で価値のある1週間を過ごすためにもっとみんなのことを知って仲を深めていきたいです。クラス替えがないからこそ、深い関係を築いて来年の行事や残りの生活も協力して、素敵な高校生活だった!!と思えるようなものにしたいです。

👑 104 お菓子の家からの脱出

感謝と青春

浅井 勇人 (名古屋市立八幡中学校出身)

初めてのアカデミー賞発表の日、僕は朝からずっと緊張していました。そしてついに結果が発表され、僕のクラスは夢にまで見たアカデミー賞をとることができました。僕は喜びの中で、準備で忙しかった日々を思い返していました。初めはほんの数人で作業をしていたのが、最終的にはクラス全体が団結して頑張る姿がありました。教室に戻り、壁を解体していると、いくつかの思い出が蘇りました。暑い中教室に運んだ木材、初めて使ったグルーガンと電動ドライバー、斜めに刺さった釘、絵の具のついた床、いくつかの成功とたくさん

の失敗があってこそこの文化祭だったんだなあと、青春を感じました。

アカデミー賞は決して一人の力で取ったものではありません。夏休みにわざわざ学校に来てくれたクラスメイト、アドバイスをくれた先生方、クラスを引っ張ってくれたリーダー、暗い時間まで残ってくれた人たち、それらすべての力が合わさって初めてとれたものだと思います。僕にとって感謝と青春を感じられた忘れられない文化祭になりました。



👑 212 文化祭アカデミー賞





PTAバザー報告

9月28日(土)一般公開日にPTA各専門委員会に加え、同朋友の会(卒業生保護者の会)、同窓会によるバザーを無事に実施することができました。

4年ぶりに飲食物の提供が可能となり、PTA事業委員会は焼きそば・うまい棒ロール、PTA文化委員会は喫茶コーナー(レモネードなどの飲料およびクッキー、クリーム大福、わらびもち)、PTA地域懇談委員会からは唐揚げを提供していただきました。バザー当日はまだまだ残暑も厳しかったのですが、本校生徒や多くの来場者で賑わいました。

また物品バザー・標準服リユースを行ったPTA生活指導委員会へは、多くの保護者の方が物品提供協力のお陰に承えて、品物をご提供いただいたお陰で当日を迎えることができました。物品をご提供いただいた保護者の皆様には感謝

いたします。

収益については専門委員会合計で48万8千315円となりました。この収益金につきましては今年も生徒会部へお渡しし、生徒の活動のために使わせていただく予定です。

そして文化祭バザー終了後、本校の会議室にPTA役員・常任委員の皆さんにお集まりいただき、「バザー報告会」を開催しました。各委員会からはバザーの売り上げや、当日のブースの様子が報告されました。

今年の文化祭は例年以上の暑さの中で開催されましたが、皆様のおかげで、さらに活気ある文化祭となりました。PTAの役員、常任委員の皆様にはバザーの準備から当日の運営、後片付けまでご協力いただき、本当にありがとうございました。

総務部長 林 雄二



文化祭

312 大橋 柊斗 (清須市立新川中学校出身)

今までの2年間、体育館で演劇部として3年生を支えていた文化祭。だが、とうとう本格的に参加できる3年生になり、しかも3年間頑張った「演劇」をクラスでやることになった。気合いを入れて頑張るぞ、と意気込み始まったが、想像もしていなかった苦しさ、悔しさ、そして達成感にも満ち溢れた一生忘れない文化祭となった。準備期間は、最初は不安でいっぱいだったが、最後の一週間は不安よりもワクワクが勝っていた。

最初は辛かったが、クラスはもちろん、周りの人たちのおかげでよいものを作ることができた。来年のために後輩に伝えたいことは「周りへの感謝を忘れないでほしい」である。演劇もパフォーマンスも、自分一人じゃできない。誰かと協力して知恵を出し合い、支え合うからこそできるのである。自分もこの文化祭で改めて思った。そして、自分たちの時間を削り支えてくれた演劇部には、感謝しかない。

同朋高校での最初の文化祭

106 谷 詩織 (名古屋市立伊勢山中学校出身)

文化祭は高校の行事の中でも一番楽しみにしていたのでごくやる気に満ち溢れていました。夏休みに入って準備をやり始めたのですが、なかなか順調に進みません。クラスの子とうまく話が噛み合わないときも多くあり、「このままでいいものを作れるのかな」と不安や心配が出てきてしまいました。それでもきちんともう一度話し合いをしたことで、お互いに納得のできる設計ができたので、ここからみんなで力を合わせて頑張ろうと思うことができました。

その日から毎日みんなと放課後に残って作業をしました。みんなで協力してやることで何倍も早く作業ができ、とてもいいものができ上がりました。夏休みの時とは見違えるほどに成長していて自分たちでもすごく驚きました。

とうとう文化祭当日。いろいろなお客さんが来てくれて迷路やゲームをして楽しんでいる姿を見て自分も嬉しくなりました。お客さんが帰るたびに笑顔でありがとう、楽しかったと言葉をかけてくれて、賞は取れなくても報われた気持ちになりました。

■柔道部

令和6年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
愛知県予選
女子48Kg級 第3位 若山 はづき(311)

第16回名南学年別柔道選手権大会

女子の部
優勝 沖本 芽依(102)
準優勝 中谷 優心(105)
第3位 須田 夏帆(201)
男子75Kg級 準優勝 岩瀬 大知(206)

令和6年度愛知県私学祭体育大会

女子の部 個人
優勝 沖本 芽依(102)
準優勝 須田 夏帆(201)
第3位 中谷 優心(105)
団体
優勝 同朋高校Aチーム
準優勝 同朋高校Bチーム

■陸上競技部

令和6年度名古屋南北支部学年別陸上競技大会
男子ジュニアハンマー投(6.000kg)
第3位 稲垣 瑛雅(208)
第4位 辻 真拓(207)

令和6年度愛知県高等学校新人陸上競技大会
名南支部予選会

男子ハンマー投げ(6.000kg)
第2位 稲垣 瑛雅(208) ⇒ 県大会出場
第3位 辻 真拓(207) ⇒ 県大会出場
男子円盤投げ(1.750kg)
第6位 瀬古 基稀(111) ⇒ 県大会出場

令和6年度愛知県高等学校新人陸上競技大会

男子ハンマー投げ(6.000kg)
第6位 辻 真拓(207) ⇒ 東海大会出場

■サッカー部

2024年度高円宮杯U-18サッカーリーグ
愛知県3部リーグ ⇒ 愛知県2部リーグへ昇格
名古屋地区1部リーグ ⇒ 愛知県4部リーグへ昇格

■男子ソフトボール部

東海ブロック大会出場(ミニ国体)メンバー選出
加藤 蓮大(311)、谷口 直聡(306)

第48回愛知県高等学校男子ソフトボール選手権大会
の結果により
第68回中日本総合男子ソフトボール選手権大会への出場決定

■女子ソフトボール部

中部電力パワーグリッド 第66回なごや市民スポーツ祭
高等学校の部 第3位

■女子バスケットボール部

第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会
愛知県大会
一次トーナメント 名古屋南支部 女子Zトーナメント
優勝 ⇒ 二次トーナメント(県大会相当)進出

■バドミントン部

第78回愛知県高等学校総合体育大会バドミントン競技
県大会
団体戦ベスト8

阿久比町バドミントン夏季大会

一般の部 男子シングルス
第3位 廣瀬 結(303)
※シングルスは女子も混じっての開催

白糠町Xインドネシア 国際交流バドミントン大会

女子シングルス
第3位 廣瀬 結(303)

中部電力パワーグリッド 第66回なごや市民スポーツ祭
高等学校の部
ベスト8 廣瀬 結(303)、高橋 和鈴(206)ペア
ベスト8 柴田 依蒨(207)、水野 薫子(103)ペア
ベスト16 吉野 光治(210)、金田 翔牙(202)ペア

令和6年度 第27回刈谷オープンバドミントン大会

第3部
準優勝 柴田 依蒨(207)、水野 薫子(103)ペア

令和6年度愛知県高等学校新人体育大会
名南・知多支部予選会

女子団体
第3位 ⇒ 県大会出場
女子ダブルス
ベスト16 柴田 依蒨(207)、水野 薫子(103)
⇒ 県大会出場
女子シングルス
ベスト8 柴田 依蒨(207) ⇒ 県大会出場

第37回 豊田オープン大会

女子ダブルス2部
準優勝 廣瀬 結(303)

■ラグビー部

第78回愛知県高等学校総合体育大会
ベスト8

第11回全国高校7人制ラグビーフットボール大会
名南知多支部予選

優勝 ⇒ 県大会出場

2024年『第2回TIDユースキャンプ
Bigman&Fastmanキャンプ』

選出
中村 優河(205)

SAGA2024国スポ(第78回国民スポーツ大会)

愛知県代表選手として出場決定
市原 広大(306)、水野 竜之介(309)

■女子蹴球部

東海男子・女子U16リーグ2024 東海リーグ
愛知県選抜メンバー
稲葉 昌郁(209)、木村 百葉(211)、松森 夕奈(108)

第78回愛知県高等学校総合体育大会

準優勝

東海ブロック大会(ミニ国スポ)

少年女子愛知県登録メンバー選出
稲葉 昌郁(209)、木村 百葉(211)、松森 夕奈(108)

第48回愛知県女子サッカー選手権大会

準優勝

■放送部

第71回NHK杯全国高校放送コンテスト
愛知県大会
テレビドキュメント部門 努力賞

■演劇部

第77回中部日本高等学校演劇大会愛知県大会
名古屋第4地区大会
優秀賞

第77回中部日本高等学校演劇大会愛知県大会

優秀賞 ⇒ 中部大会出場

■美術部

第68回ウエサカ祭協賛作品展
(絵画の部)
金賞 神谷 紗矢花(202)
銀賞 鏡 美月(108)
銅賞 久保田 朱音(110)
佳作 鬼頭 香汰郎(102)、東 朱音(108)

■書道部

第68回ウエサカ祭協賛作品展
(書道の部)
金賞 宮川 結菜(313)
銀賞 林 穂寿(205)
銅賞 川浦 菜月(311)、西子 結菜(201)
佳作 山本 桃榎(202)、船木 心結(203)、
佐川 心遥(206)

■合唱部

第91回NHK全国学校音楽コンクール
愛知県コンクール高等学校の部予選
奨励賞

■商業科

令和6年度愛知県職業教育技術顕彰
3年生93名

■音楽科

寛仁親王牌 第39回童謡こどもの歌コンクール
こども部門
グランプリ大会出場 藪田 美怜(314)

第68回九州ギター音楽コンクール

一般部門・上級
銀賞 山川 寧々(314)

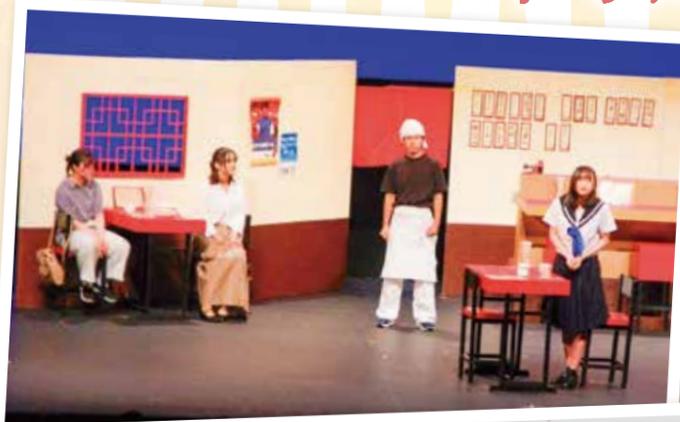
■クロスミントン

クロスミントン八王子カップ2024夏
トップリーグ(2部)女子シングルス
優勝 高橋 和鈴(206)

クロスミントン世界大会出場

高橋 和鈴(206)

同朋生のいろいろな頑張り



自分の成長。気づき

206 岩瀬 大知 (西尾市立吉良中学校出身)

僕が日頃成長を感じるの、部活動です。僕は柔道部に所属しています。毎日の練習で、意識をしないと自分の変化に気付くことは難しいですが、今振り返ってみると、入学時と今と比べて変化したところは、気持ちだと思います。入学当初は、練習についていくのが精一杯で、一回も投げることができずに練習が終わることもありましたが、今は気持ちに余裕が出てきて、「あの技で投げたいな」「今の技よかったな」など、自分のことを見れるようになりました。その余裕のせいで技をかけられないこともありますが、余裕ができたことで、自分のやりたいことに挑戦できるよう

になり、毎日の練習が意味のある練習になりました。日常生活でも、余裕を持つことが上手いくコツだと思っています。テスト前に急いで勉強するよりも余裕を持って前々から勉強の方が身になります。移動教室でも、余裕を持って行動すると忘れ物があっても取りに戻ることができます。自分はまだ余裕を持てずに失敗することが多いので、勉強や朝の準備など、時間を上手く使って余裕を持てるようにしたいです。

文武両道

310 近藤 倫央 (刈谷市立富士松中学校出身)

私は3年間、文武両道を頑張ってきた。その結果、学業では愛知学院大学法学部の指定校推薦をいただき、部活動では女子蹴球部のキャプテンを務め、愛知県2位という好成績を残すことができた。そんな私が日々を過ごす中で意識してきたことが2つある。それは「隙間時間の活用」と「睡眠時間の確保」である。

テスト期間と、部活動の大会期間が重なることも多く、学業と部活動の両立は心身ともに難しかった。朝は始発で行き、帰宅は21時を過ぎる。寝不足は避けられず、勉強にも部活動にも悪影響なので、少しでも早く寝られるように意

識した。そして、登下校の電車内の隙間時間を利用して暗記を繰り返した。テスト週間になると、睡眠の時間を削ってまで勉強する人が多いように感じるが、前日に夜更かしをして勉強するよりも、私は事前に計画を立ててテスト勉強をするようにした。おかげで、この3年間を経て、私は上手に時間を使うことができるようになった。

1、2年生の皆さんには、勉強も部活動も優先順位を付けず、どちらも全力で取り組めるよう頑張ってもらいたい。応援しています。

自分の変化

105 石谷 千咲 (名古屋市立浄心中学校出身)

私は高校生になって女子蹴球部に入ってみて、始めは後悔していました。友達と遊びに行ける時間は少ないし、うまくいなくて怒られることばかりで、しんどくて辞めようと思ったこともたくさんありました。ですが、テーピングができるようになったことやボールが蹴れるようになったことなどできることが増えていくたびに先輩たちに「すごい」「頑張ってるね」などと褒めてもらうことや「ありがとう」と言ってもらえることが増えました。また、私がいろいろ悩んでいると先輩たちが気にかけてくれて、不安に思っていることや悲しかったことなどを聞いてくれたり、先輩後輩関係なくご飯

を食べに行ったり遊びに行ったりと仲良くなれたことなど嬉しいことや楽しいことも沢山ありました。最近ありがたいことによく来てくださる接骨院の方にテーピングやマッサージの仕方など教えていただけることになったり、他の接骨院の先生の出身の専門学校に推薦していただく話をいただけたりとどれだけ自分が恵まれた環境にいるのか実感しました。みんなにたくさん助けてもらった分、次は私がみんなの怪我やメンタル面でもサポートをできるように一層頑張っていきたいなと思いました。

職業教育技術顕彰を受領しました

愛知県には、職業資格の取得を通し、技術・技能の習熟、目的意識をもって充実した学校生活を送り、将来にわたる豊かな職業生活を営むことを目的とした技術顕彰制度があります。

本校からも日頃の学びの成果が実り、高度な資格を複数

取得した商業科3年生の生徒に対し、愛知県知事より愛知県職業教育技術顕彰が授与されました。

顕彰が授与されたことに自信を持ち、これからも学びに真摯に取り組んでもらいたいものです。



愛知県職業教育技術顕彰受領者

石川 芹奈	中島 果鈴	荒井 美紀	田之上 くらら	岩田 咲菜	関戸 日南乃
岩井 鉄馬	萩尾 一菜	上西 花菜	中里 ケンジ キネス	岩田 清花	玉田 愛哩
岩田 優里	原田 湧大	大石 梨乃	中島 来海	植田 聖来	中橋 七海
小栗 太一	日比野 友美	大谷 優愛	西田 有汰	梅村 亮介	中村 仁
加藤 蓮大	堀田 妃楼	大橋 柗斗	野田 七星	江藤 昶希	成田 芽依
川浦 菜月	増田 千紘	大矢 翼	服部 未来	川島 優来	橋口 藍和
川村 明日香	水越 亜蓮	岡崎 直美	花枝 紗奈	北 紫鶴	藤原 充希
坂井 ひな	加藤 颯爽	加藤 颯爽	ハミルトン 宙 ちゅうさ	金 錬生	古田 希生子
坂本 由奈	茂木 優空	加藤 路菜	松本 優空	黒田 瑠泉	前村 美咲
執行 梨沙	森 悠人	川口 煌太	水田 結月	桑原 幸希	宮川 結菜
清水 なつみ	山岸 優空	木村 二千奈	溝口 萌	後藤 愛希	三輪 結香
松尾 芙美奈	山本 海愛	齋藤 ゆりな	村瀬 太郎	後藤 芽衣	山田 愛莉
鈴木 梨華	山守 健生	坂井田 聖莉	山崎 美琴	小林 広飛	吉田 梨紗
高橋 健惺	湯浅 未菜	高津 累維	鷺尾 亜美	佐藤 ひより	
田中 来夢	吉田 万桜	高橋 恢登	高橋 恢登	佐藤 柚花	
富所 明日香	渡邊 雄太	滝田 華織	滝田 華織	杉野 圭亮	

以上 93名

商業科ならではの

私の学び、商業科での学び

313 三輪 結香 (北名古屋立熊野中学校出身)

私は卒業後の進路の選択肢を広げるため、1年次から積極的に検定資格取得に取り組んできました。検定日とテスト期間が重なると、どちらかの勉強が疎かになりそうなおもりましたが、目標と計画を立てることの大切さを実感することができました。資格は努力した成果が目に見えるため、

り資格取得を目指す意欲が高まりました。資格や知識は私の武器になり、将来の選択肢を広げることができました。卒業までに全商五冠を目指し、3年間で学んだことを活かして努力を続けていきたいです。

アンサンブル演奏会

アンサンブル演奏会を通して

314 長縄 結子 (春日井市立中部中学校出身)

私はアンサンブル演奏会を通して、とても大きく成長できたと実感しています。今年は二曲演奏したのですが使用する打楽器が曲によって異なっていたので、いつもより時間をかけて練習に取り組みました。普段触ることが少ない打楽器だったので、朝・昼・放課後と個人練習を積み重ね、一緒に演奏する後輩と息を合わせて細かいところまで丁寧に準備をしました。私が先輩になってからはじめての演奏会。楽器運搬からうまくできるか不安でしたが、裏方の人と連携をとったり工夫することで本番をスムーズに迎えることができました。このように、手伝ってくださった先生方や協力してくださった方々に感謝する大切さを知り、本番も楽しく演奏でき、思い出に残る演奏会でした。



合奏オーケストラ演奏会

特別な合唱・オーケストラ演奏会

314 浅井 奏音 (名古屋立駒方中学校出身)

私は最後の合唱・オーケストラ演奏会を特別な思いで迎えました。なぜなら毎朝後輩と一緒に練習を重ねてきたからです。今年からトロンボーンを始めた後輩。私は今までトロンボーンを「教わる」ことばかりで「教える」ことは未経験だったため、戸惑いばかりでした。指番号を振るところから始まり、音を出し、曲を完成させるまでの道のりはとても長く感じました。毎日朝から練習に励み、だんだんと形になっていくその過程は成長するさまを実感しました。そして本番。楽しい気持ちと不安な気持ちでいつもより心臓の鼓動が大きく感じられました。今年は合唱とオーケストラの共演が叶い、音楽科全員でひとつのステージを作り上げることができたのは最高の喜びです。最初は不安ばかりでしたが、終わってみればただただ楽しい演奏会でした。仲間や後輩との絆が深まり、音楽科がひとつになったこの演奏会は私にとってかけがえのない思い出です。



音楽科ならではの

積み重ねた日々の経験と学び

314 大矢 雪乃 (名古屋立志賀中学校出身)

私が音楽科で過ごした3年間は、音楽が好きになったり嫌いになったりを繰り返す日々でした。音楽は形として残るものではありません。毎日頑張ったのに本番で満足いく演奏ができず今まで積み上げてきたのは何だったのだろう?と悔しさが溢れて何度も辞めたいと思いました。それでもどうしても諦めきれなくて、上手になりたい一心で毎日歌い続けました。努力し続けていると、自分が発した声とは思えないような響きを出すことができ嬉しくなります。そんな響きを追い求めて練習を

重ね、気付けばまた音楽が好きになっていました。私にとって音楽は生活の一部です。食事や睡眠と同じように毎日必要です。その考えはこの3年間で培われたものだと思います。整っている環境、支えてくれる周りの方々、失敗と成功の経験...いろいろなことに恵まれた高校生活でした。これから私たちは同朋高校を離れ、別々の進路へと進みます。私はきっとこれからも毎日音楽に向き合っていくでしょう。一番大切なことを見失わないように、3年間で学んだことを活かしていきます。